

# 21 インフラメンテナンス予算の確保について

## 長野県の状況

【農林水産省・国土交通省】

### ●老朽化する社会基盤施設の適切な維持管理・更新が急務

- 建設後50年を経過する社会基盤施設が、令和15年には道路橋の約63%、トンネルの約42%、河川管理施設の約20%、下水道管渠の約12%、基幹的農業水利施設の約44%に達する見込み。また、上水道管路は44%が法定耐用年数※40年を超過する見込み。

※地方公営企業法に示された設備の更新基準

- 今後も社会基盤施設を適切に維持管理していくためには、**予防保全の考えに基づいたメンテナンス**を行うことが重要
- 着実に進行する社会基盤施設の老朽化**に対応するためには、膨大な予算が必要となることから、インフラメンテナンスのための**予算を安定的・継続的に確保**することが必要

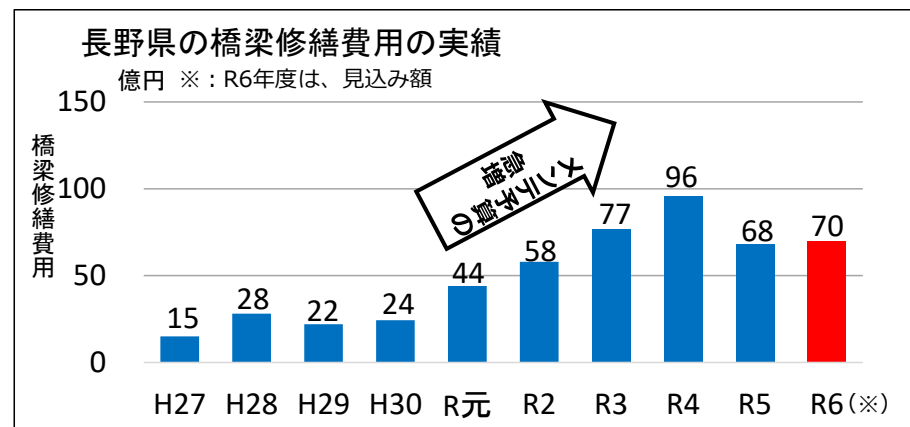
### 取組

#### ○道路施設

- 橋梁・トンネル等の法定点検は平成30年度で一巡目が完了
- 橋梁では約25%（約990橋）が早期に措置を講ずべき状態
- 長野県橋梁長寿命化修繕計画(第3期)に基づき、令和6年度までに修繕を終えるためには、**年間約70億円**の予算が必要
- 舗装等の法定点検対象外施設も、修繕が喫緊の課題

#### ○河川施設

- ダム等の重要河川施設の**長寿命化計画を策定**  
⇒ **予算の不足により計画に沿った維持管理・更新に遅れ**
- 計画を上回るスピードで貯水池内の堆砂が進行し、**早急な堆砂対策が必要**  
**県管理17ダム中、5ダム（裾花、奥裾花、湯川、松川、片桐）で計画堆砂容量内の堆砂率が100%超え**



## ○砂防施設

- ・平成30年7月豪雨を受け、**石積砂防堰堤の緊急改修**を実施
- ・**緊急浚渫推進事業債**を最大限活用し、**堆積土砂の浚渫**を実施

## ○公園施設

- ・**公園施設老朽化対策**を県内23市町村と共に実施

## ○農業水利施設

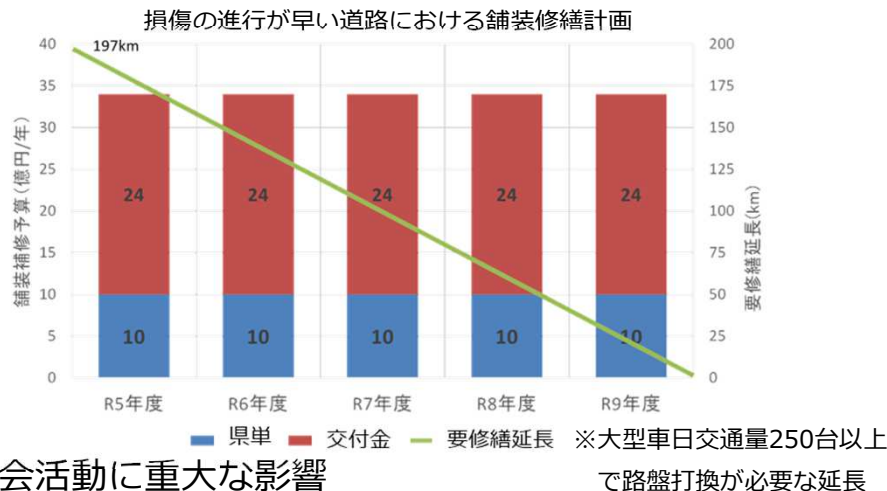
- ・**基幹的農業水利施設**（水路1,291km、重要構造物685か所）について、**機能保全計画に基づく長寿命化**を実施

## ○下水道施設

- ・**管渠や処理場は代替がきかない**ため、破損や故障は日常生活や社会活動に**重大な影響**
- ・特に県内の処理場は108(全国第3位)あり、耐用年数の短い機械、装置等の更新に**多額の予算が必要**

## ○水道施設

- ・県内には水道事業者が多く存在し、地形的な特徴もあり経営基盤が脆弱（上水道61（全国2位）・簡易水道124（全国5位））
- ・安心・安全な水を供給するため、耐震化・老朽化対策に対する**技術的支援及び財政支援制度の拡充が必要**



## 課題

- 着実に進行するインフラの老朽化対策**を行っていくためには、**予防保全に基づくメンテナンスサイクル**を徹底し、**ライフサイクルコストを一層低減**させることが必要
- 予防保全の考えに基づき、適切かつ計画的な維持管理・更新**を進めていくためには、**継続的な予算の確保と地方負担軽減**が必要
- 大型交通量が多い緊急輸送路や観光道路では舗装の損傷の進行が早く**、適切に修繕を進めていくには、**多額の予算が必要**

「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」では、中長期的なトータルコストの縮減を図るため、**早期に対策が必要な施設の修繕を集中的に実施し、予防保全型のインフラメンテナンスへの転換**を図るとされた

## 提案・要望

### 1 インフラの長寿命化対策への支援（国土交通省）

地方自治体が、予防保全の観点から**インフラの長寿命化対策**を着実に進められるよう、今後も必要な予算を**安定的・継続的に確保**すること  
また、**法定点検対象外である舗装についても損傷や老朽化が進行**していることから、地域の安心・安全を確保するため、**必要な予算を確保**すること